

# 「授業を見せ合うハイパー谷一塾」について

谷村第一小学校  
校長 大竹 太

# 1. 谷村第一小学校の現状について

## (1) 子供たちの状況について

○学力の低下→表現力や思考力が特に低下していることが目立つ

○授業中に落ち着きのない子が多数存在→授業がわからない

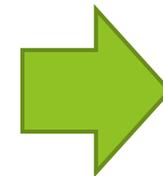
※「わかる授業」の創造が急務

## (2) 教職員の状況について

○若手教員の増加→OJTを行っていく必要性が増大

○教職員の多忙化→研修になかなか出ることができない

○レベルの高い教育実践をする同僚の存在



**人的資源の活用**

## 2. 「授業を見せ合うハイパー谷一塾」の実際

### (1) 積極的に授業を公開する→「個別最適な学びと協同的な学びの一体化」

#### ①校務支援システムの「掲示板」に公開日を載せる

○「〇月〇日〇校時に〇〇の授業をするので見に来てください。」

#### ②自由に授業を見に行く

○自分の空き時間を活用して授業を参観する

○空き時間でないときには自習にして見に行く。  
→教務からの応援（教頭が組織化）

#### ③授業後の感想を書く

○校務支援システムの「掲示板」に書く

※良いところ2つ、課題点1つ

※課題点を書くときには改善策を必ず書く

## ④その他

○授業案などの準備をしない。

→準備をすることで負担感が出て、途中でやめてしまう

○誰か一人は必ず見に行く。（校長、教頭）

→やる気を減退させない。（誰も見に行かない）

○4月、7月、9月、12月、1月、3月はやらない

→多忙な時を避ける。

→5月、6月、10月、11月、2月（学級が崩れる時期）

※先生方に緊張感を持たせる。

## **(2) 自分から進んで授業を見に行く**

**①直接、授業者に「〇月〇日の〇校時に授業を見に行かせてください」とお願いする。**

○専門性を持っている先生にお願いをすることができる

→言われた側の先生は、調整をすることができる。(日時の変更可)

**②指定した日時に授業を見に行く**

○自分の空き時間を活用して授業を参観する

○空き時間でないときには自習にして見に行く。

→教務からの応援(教頭が組織化)

**③授業後の感想を書く**

○校務支援システムの「掲示板」に書く

※良いところ2つ、課題点1つ

※課題点を書くときには改善策を必ず書く

## ④その他

○授業案などの準備をしない。

→準備をすることで負担感が出て、途中でやめてしまう

○4月、7月、9月、12月、1月、3月はやらない

→多忙な時を避ける。

→5月、6月、10月、11月、2月（学級が崩れる時期）  
※先生方に緊張感を持たせる。

○「授業をみせて欲しい」と言われたら原則的に断らない

→日程調整等については必要がある

### 3. 良い点、課題点など

○校務支援システムを活用し、校長がそれぞれの教師の良さを伝える（優れた点）

○力量を高めるには、多少の負担感が必要になる

○なかなか思い切って授業を見に行くことができない

○低学年は空き時間がないので、難しい面もある

○管理しない（行った回数、公開した回数など）

**教師の力量を高めることは  
子供たちの学力向上に直結する。**



**全ては子供たちのために！  
そして、先生方自身のために！**